

**林産物利用**

教 科	農業科	単 位 数	3 単 位	学科・学年	森林科学科・2年
使用教科書	林産物利用（実教出版）				
副教材など	プリント・資料				

**科目の概要、到達目標**

○森林から得られる、木材を中心とした林産物の加工と利用について学習する科目です。  
 ○木材の加工やきのこの培養、栽培など、体験的・継続的な実習と、観察・実験・記録などの学習活動を通して、林産物の生産・加工・利用に関する基本的な知識と技術を身に付けます。

**学習計画、自己評価**

期	月	学 習 内 容	学習のねらい
前 期	4	1 木材の構造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木材の肉眼的構造</li> <li>・木材の組織</li> </ul>
	5	2 製材と木材の工作	
	6	3 木材の性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木工用機械の種類と安全</li> <li>・木工工作法</li> <li>・箱物家具の製作 〔10月まで〕</li> </ul>
	7		
	8		
	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>・木材の物理的性質</li> </ul>
後 期	10	4 特用林産物の生産と加工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木材の化学的性質</li> <li>・きのこの生産と加工</li> <li>・薬用植物の生産と加工</li> </ul>
	11		
	12		
	1		
2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・木材の観察を通して、木材の断面と基準方向、年輪の構造、木理と杻、木材のきずについて理解する。</li> <li>・針葉樹、広葉樹材を構成する細胞や組織の特徴、機能について理解する。</li> <li>・刃物と切削の関係、木工用機械の種類と安全操作について理解する。</li> <li>・木材の種類や状態に応じた切削加工、面削り作業など木工工作法に関する知識と技術を身に付ける。</li> <li>・箱物家具の設計図を作成し、木工用機械を安全に使い、木材の特性を生かし精度の高い作品を完成させる。</li> <li>・木材含水率、収縮膨張率の測定や強度試験などの実験を通して木材の物理的な性質について理解する。</li> </ul>	
3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・木材の組成分析などの実験を通して木材の化学的性質について理解する。</li> <li>・きのこの生態を理解し、きのこを菌糸の培養及び栽培に必要な知識と技術を身に付ける。</li> <li>・薬用植物の種類と生態を理解し、栽培、利用に必要な知識と技術を身に付ける。</li> </ul>	

**評価の観点、方法**

○観点別評価  
 a 知識・技能（技術）      b 思考・判断・表現      c 主体的に学習に取り組む態度  
 ○観点別評価の方法  
 定期考査、授業での行動観察、提出物（課題プリント・授業ノート）、振り返りシート、パフォーマンステスト、発表などによって、ABCの3段階で評価します。  
 ○観点別評価を均等に総括して評定（5段階）を決めます。

**定期考査の範囲、課題**

前 期	中間考査範囲	
	期末考査範囲	
後 期	夏休みの課題	
後 期	中間考査範囲	
	学年末考査範囲	
	冬休みの課題	